

第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）

資料5

健診										
地域・職域における疾患・検査値・生活習慣等を踏まえ、どのような対象者にどのようなアプローチを行うか										
No.	健 ー 1	アプローチ方法	ポピュレーションアプローチ	実施年度(期間)	R6年度	～	R11年度			
取組名称	事業所規模1～9人の事業所に対する生活習慣病予防健診受診率向上の取り組み			評価指標	事業所規模1～9人の事業所に対する生活習慣病予防健診受診率					
				目標値	50.0%	R6	R7	R8	R9	R10
				45.0%	46.0%	47.0%	48.0%	49.0%	50.0%	
取組の目的及び具体策	<p>目的：事業所規模1～9人の事業所の生活習慣病予防健診の受診率は令和4年度は43.01%であり、支部平均から約20%程度下回っている。事業所規模1～9人の事業所の被保険者についても血圧リスクを保有する者が相当数存在すると考えられることから、血圧リスク保有者を抽出するために当該事業所の生活習慣病予防健診の受診率を50%まで向上させる。</p> <p>具体策：商工会議所等の経済団体への幹部職員等による訪問を行い協力連携を依頼。当該事業所の被保険者について、過去の受診歴等を踏まえ、たうえで個人あてに利用勧奨を実施。小規模事業所勤務の場合、平日に受診することが困難であると考えられるので、健診機関と連携して休日の集団健診を実施。</p>									
No.	健 ー 2	アプローチ方法	ポピュレーションアプローチ	実施年度(期間)	R6年度	～	R11年度			
取組名称	高血圧有病者の割合が高く、特定健診受診率の低い東部地域の被扶養者の未受診者への受診勧奨			評価指標	東部地域の被扶養者の特定健診受診率					
				目標値	28.0%	R6	R7	R8	R9	R10
				23.0%	24.0%	25.0%	26.0%	27.0%	28.0%	
取組の目的及び具体策	<p>目的：東部地域は静岡支部全体と比べて高血圧症有病者の割合が男女ともに高い市町が多く、令和4年度の特定健診の受診率が20.8%と中部（27.5%）、西部（26.9%）に比べて低いため、受診率の向上を目指す。</p> <p>具体策：対象者が多くがん検診と同時実施の集団健診が実施できていない市町（沼津市等）に働きかけを行い集団健診の実施を図る。また、静岡県などの関係団体と連携して同時実施の集団健診の拡大を図る。健診機関と連携して集客に効果的な集団健診を実施する。過去の受診履歴に着目した受診勧奨を実施する。</p>									

特定保健指導

地域・職域における疾患・検査値・生活習慣等を踏まえ、どのような対象者にどのようなアプローチを行うか

No.	指 ー 1	アプローチ方法	ハイリスクアプローチ	実施年度(期間)	R6年度	～	R11年度			
取組名称	道路貨物運送業の特定保健指導実施率向上			評価指標	道路貨物運送業の特定保健指導実施率					
				目標値	15.0%	R6	R7	R8	R9	R10
					10.0%	11.0%	12.0%	13.0%	14.0%	15.0%
取組の目的及び具体策	<p>道路貨物運送業は、令和4年度特定保健指導実施率が8.2%と、平均17.2%と比較すると半分にも満たない状況である。その背景としては、不規則、長時間勤務のため、本社に行っても対象者がいない場合が殆どである。しかし、上記の勤務状況も一因であるからか、特保対象者該当率は26.9%と静岡支部特定保健指導対象者該当率18.4%に比べると、大幅に上回っている。そのため、実施率更には特定保健指導対象者該当率を減少させるべく、以下の方法を実施する。</p> <p>1) 健診機関に協力を依頼し、巡回健診で行う道路貨物運送業の事業所の健診日程を把握する。</p> <p>2) 健診会場に、協会保健指導者を投入し、昨年度健診結果で特定保健指導対象者に該当した者には、特定保健指導を実施する。</p> <p>3) それ以外の健診受診者には、健康相談を実施する。</p> <p>4) 特定保健指導ができる保健指導機関により、QRコード等を使った簡便な申し込みとICT面談による特定保健指導のPRチラシを個人宅に特保勧奨文書を送付。反応がない場合は、事業所に電話勧奨を行うことで、特保実施率向上を目指す。</p> <p>5) トラック協会等業界団体の広報誌に、業態に合った管理栄養士からの記事や特保のPRなどを載せてもらい、業態全体の特保向上に結び付ける。</p>									
No.	指 ー 2	アプローチ方法	ハイリスクアプローチ	実施年度(期間)	R6年度	～	R11年度			
取組名称	特定保健指導実施率向上のための取組（被扶養者）			評価指標	東部地域の被扶養者の特定保健指導実施率					
				目標値	11.0%以上	R6	R7	R8	R9	R10
					6.0%	7.0%	8.0%	9.0%	10.0%	11.0%
取組の目的及び具体策	<p>目的：東部地域は静岡支部全体と比べて高血圧症有病者の割合が男女ともに高い市町が多く、令和4年度の特定保健指導の実施率が4.3%と中部（15.3%）、西部（16.1%）に比べて著しく低いため、実施率の向上を目指す。特定保健指導実施につながる勧奨及び周知の実施</p> <p>1) 当該地域の対象者数の多い市町（沼津市、富士市など）において、公民館などを利用して健診結果説明会・特定保健指導の初回面談を実施する。</p> <p>2) 一部の会場で健診後に結果説明会を開催し、参加者には実施機関からの粗品贈呈等のPRで参加促進を行う。</p>									

重症化予防

地域・職域における疾患・検査値・生活習慣等を踏まえ、どのような対象者にどのようなアプローチを行うか

No.	重	1	アプローチ 方法	両方	実施年度 (期間)	R6年度	～	R11年度			
取組名称	健診当日の未治療者への早期受診勧奨による医療機関受診率の向上				評価指標	契約機関数					
					目標値	40機関	R6	R7	R8	R9	R10
						30	32	34	36	38	40
取組の目的 及び具体策	<p>目的：健診当日に前年度未治療者に対し、アプローチを実施することで、医療機関の受診に結び付ける。</p> <p>1) 健診受診者のうち、二次勧奨対象者の未治療者に対しては、健診当日に昨年度の健診結果等を元に、受診確認及び受診勧奨を行うことで、未治療者割合を減少させる。また、それ以外の方には、個人の健康状態に合わせたアドバイス等を実施する。</p> <p>2) 健診当日に収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上の該当者かつ未治療に対し、血圧測定票を手渡してもらい、自己血圧測定を勧め、その後必ず受診するように指導してもらう。</p> <p>3) 昨年度のLDLコレステロール値が180mg/dl以上かつ未治療者に対しても、積極的に受診勧奨を行う。</p> <p>4) 昨年度健診の中の心電図で、重篤な疾患を引き起こす不整脈等を伴った心電図波形に該当し、かつ未受診者に対して受診勧奨を行う。</p>										
No.	重	2	アプローチ 方法	ハイリスクアプローチ	実施年度 (期間)	R6年度	～	R11年度			
取組名称	未治療者への受診勧奨による医療機関受診率の向上				評価指標	受診勧奨での架電率					
					目標値	75%以上	R6	R7	R8	R9	R10
						70.0%	71.0%	72.0%	73.0%	74.0%	75.0%
取組の目的 及び具体策	<p>目的：本部の一次勧奨後に、支部から二次勧奨を行うことで、さらなる受診率の向上を目指す。</p> <p>1) 生活習慣病予防健診機関で、自機関受診の一次勧奨対象者の未治療者に対し、電話等の受診勧奨を実施する。</p> <p>2) 1)以外の健診機関で受診した一次勧奨対象者には、委託業者等から受診勧奨を実施する。</p> <p>3) 1)以外の健診機関で受診した一次勧奨対象者がいる事業所には、協会から委託業者等から連絡が来る旨の通知を全送付する。</p>										

重症化予防

地域・職域における疾患・検査値・生活習慣等を踏まえ、どのような対象者にどのようなアプローチを行うか

No.	重 — 3	アプローチ 方法	ハイリスクアプローチ	実施年度 (期間)	R6年度 ~ R11年度						
取組名称	糖尿病性腎症未治療者への受診勧奨による医療機関受診率の向上			評価指標	受診率						
				目標値	25.0%	R6 20%	R7 21%	R8 22%	R9 23%	R10 24%	R11 25%
取組の目的 及び具体策	<p>目的：透析に移行させないような糖尿病性腎症からの受診勧奨を実施する</p> <p>1) 静岡市の糖尿病性腎症重症化予防プログラムに則り実施する。対象者は空腹時血糖値126mg/dl以上またはHbA1c6.5%以上かつ①もしくは②に該当する者①尿蛋白定性（+）以上 ②49歳以下ではGFR60ml/分/1.73m²未満 50～69歳ではeGFR50ml/分/1.73m²未満 70歳以上ではeGFR40ml/分/1.73m²未満 の方たちに対し、個人宅宛に文書勧奨を実施する。</p>										

コラボヘルス

地域・職域における疾患・検査値・生活習慣等を踏まえ、どのような対象者にどのようなアプローチを行うか

No.	コ	ー	1	アプローチ 方法	ポピュレーションアプローチ	実施年度 (期間)	令和6年度		～	令和11年度		
取組名称	重点エリアにおけるパターン別禁煙支援				ポピュレーションアプローチ	評価指標	禁煙支援を実施した事業所数					
						目標値	60	R6	R7	R8	R9	R10
取組の目的 及び具体策	静岡県内の喫煙率の地域差が課題としてあげられる。特に東部地域は喫煙率が高い傾向にあり対策が必要である。静岡県の東部地域を重点的に協会けんぽが直接介入し、禁煙に対する意識や意欲を把握したうえでパターン別に禁煙支援を実施する。											
No.	コ	ー	2	アプローチ 方法	ポピュレーションアプローチ	実施年度 (期間)	令和6年度		～	令和11年度		
取組名称	運動習慣の定着化に向けた健康（運動）セミナー				ポピュレーションアプローチ	評価指標	健康（運動）セミナーに参加した事業所数					
						目標値	540	R6	R7	R8	R9	R10
取組の目的 及び具体策	静岡支部加入者の健康課題である「運動習慣要改善者の割合が高い」ことの解消に向けて、事業所単位での健康（運動）セミナーを開催するほか、協会けんぽと橋渡しの役割を担う健康保険委員が参加する研修会等において運動に関する講座を実施することで、個人のヘルスリテラシーを向上させ運動習慣の定着化を図る。											